



国道7号津賀野地区桜並木の愛称

「つかの桜街道」に決定!



弘前市の北の玄関口である国道7号津賀野地区の桜並木について更に多くの人に知ってもらうため、地元の和徳地区町会連合会が主体となり、国土交通省及び弘前市が協力し、2月15日から愛称を募集しておりましたが、締め切り日である3月7日までに全国各地から応募総数299件の応募があり、審査の結果、桜並木の愛称が「つかの桜街道（つかのさくらかいどう）」に決定いたしました。

[採用者]：相澤淑子様（弘前市）

[意味・理由]：場所がわかる様に津賀野を入れました。また街道とは「出世につながる」という意味です。

今後は、愛称決定を記念して、現地への桜（ソメイヨシノ）の植樹や愛称看板の設置を予定しております。

